

三田祥雲館「探究活動」で身につける「自ら学ぶ力」

	三田祥雲館「探究活動」で身につける「自ら学ぶ力」									
	学びの基礎力			学びを深める力				学びに向かう力		
	①②課題解決に必要な 知識・技能		③探究の 意義や価値 の理解	④課題を 発見する力	⑤計画を 立てる力	⑥情報を 分析する力	⑦表現する 力	⑧主体的に 行動する力	⑨他者と 協力する力	⑩社会に 関わる力
	学校生活	学校外								
A	授業の中で「問い」を発見し、課題や自主学習、質問を通じて疑問を解決している。	文献などだけでなく、研修会や講演会などに参加し、自分が目指す進路や将来のキャリア形成に必要な知識や技能を高めている。	現在学んでいることが、今後どのように活用できるか、長期的な目線を持って学習に取り組んでいる。	探究活動を通して、柔軟で多様な視点から未来を見据え、社会的・学術的課題を見出すことができる。	段階的で綿密な計画にのっとり、それをよりよく修正しながら継続的に活動できる。	調査・実験により独自に得た情報と、既存の情報を整理し、その関係性を分析することができる。	場面に応じた発表手法を用いて、説得力のある発表ができる。	学内にとどまらず、学会や学習発表会などに参加し、自身の探究活動に生かすことができる。	他者と協力するだけでなく、積極的に学外の他者と協力し、自身の探究活動を深めることができる。	自分の探究活動を通して地域社会や学問の発展に貢献できる。
B	課題や自主学習、質問を適切に行い、授業の理解に努めている。	自分が目指す進路や将来のキャリア形成を考え、ニュースや新聞、文献などから、積極的に知識や技能を得ようとしている。	これまでに学んできた様々な知識や技能を課題解決に結び付け、学習に取り組んでいる。	探究活動によって導いた結論から、新たな問いを設定できる。	現実的で具体的な計画を立て、それを修正しながら活動できる。	自分の研究テーマに即して、調査や実験により独自の情報を収集することができる。	話し方を工夫し、聴衆とコミュニケーションをとり、双方向のやりとりがある発表ができる。	課題を自ら設定し、それを解決するための行動ができる。	教員や外部講師とのコミュニケーションを通じて探究活動を深めることができる。	探究活動を通して身に着けた力を、自身のキャリア形成に関連付けることができる。
C	授業活動や課題など、指示されたことは着実に実行している。	興味関心のあることについて、ニュースや新聞、文献などから情報を得ている。	日々の授業や課題の意義を自分なりに考え、取り組んでいる。	自分の研究テーマに即して問を設定し、その仮説、手法を考えることができる	実行可能な計画を立て、活動できる。	与えられたテーマに即して文献や先行研究から情報を収集できる。	自分の考えを明確にして、相手を意識した姿勢で伝えることができる。	与えられた課題を解決するために、情報を自ら収集することができる。	クラスメイトとのグループワークの中で対話、議論し探究を深めることができる。	社会や自然の問題を自分事と捉え、自身の探究活動を社会や自然との関わりの中に位置づけることができる。
D	授業や課題など、指示されたことを実行しようと努力している。	興味関心のあることについて、時折、ニュースを見たり、本を読んだりする。	日々の授業や課題の意義を深く考えることはないが、授業や提出課題には誠実に取り組んでいる。	与えられた課題に対し、その背景を想像し、課題を考えることができる。	多少曖昧な点はあるが、計画を立て行動する。	与えられたテーマに即してインターネットや新聞など身近なものを利用して簡単な情報収集ができる。	自分の考えを伝えることができる。	与えられた課題を解決するためのアドバイスをもとに情報を収集することができる	クラスメイトとのグループワークの中で、対話しながら作業ができる。	社会や自然の問題に関心をもち、様々な情報を集めることができる。
E	授業中の指示を理解し、行動することや課題の提出状況など学習に取り組む上で不十分な点がある。	自分自身の興味関心について考えることも少なく、時事問題への関心が薄い。	学びの意義や価値が見いだせず、授業活動や提出物を漫然とこなしている。	与えられた課題に対し、背景をふまえて課題を考えることができない。	現実的な計画が立てられない。	与えられたテーマに即した情報を選択することができない。	自分の考えを口頭で伝えることが十分にできない。	与えられた課題に対して受動的であり、指示されて行動することが多い。	クラスメイトとのグループワークにおいて、積極的に対話することができない。	社会や自然に対しての関心が薄く、新聞やニュースをあまり見ない。